平成 30 年 8 月 10 日　京 都 仏 教 会 会 報　第 104 号

京佛

夏 季 号

京都府京丹後市　本願寺　重文　本堂

一般財団法人　京 都 仏 教 会

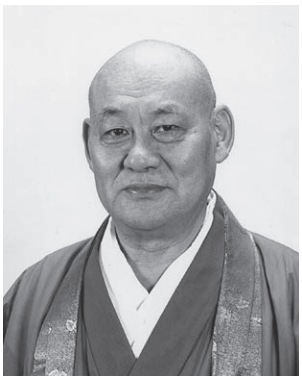
理事長　有馬頼底
常務理事　宮城泰年
〃　佐分宗順
〃　坂口博翁
理事　安井攸爾
〃　谷内弘照
〃　三浦文良
〃　森孝忍
〃　川村俊弘
〃　菊入諒如
〃　町田泰宣
〃　横江桃国
〃　奥垣内圭哲
〃　長澤香静

評議員　荒木元悦
〃　大西真興
〃　砂原秀輝
〃　北園文英
〃　澤宗泰
〃　掃部光昭
〃　小出量堂
〃　田中恵厚
〃　田邊宗一
監事　山木康稔
相談役　北川隆法
〃　中村覚祐
名誉顧問　東伏見慈晃
〃　上村貞郎

参事　華園源昭
〃　吉田清順
〃　沢田教英
〃　能登春夫
〃　戸田妙昭
京丹波町和知仏教会会長　竹中成圓
京丹波町丹波仏教会会長　岩波道一
加悦谷仏教会会長　大紫磨正光
福知山市仏教会会長　佐々木善数
綾部市仏教会会長　篠原紘生
大江町仏教会会長　田和昌弘
三和町仏教会会長　岡田静峰
舞鶴東仏教会会長　谷公人

理事長報告

本年四月より新たに 一般財団法人として 船出致しました



臨済宗相国寺派管長
理事長　有馬頼底

謹啓　時下ご清祥の御事と存じ上げます。ご寺院各位をはじめ賛助会の皆々様方、平素は何かとご高配賜り、心より御礼申し上げます。

さて、当会は本年四月二日より、「一般財団法人・京都仏教会」として新たなスタートを切りました。それに伴い開設致しました「宗教と社会研究実践センター」の活動は宗教学、憲法学、仏教学、社会学、税法学、宗教法学の分野の学者各位が宗教者とともに研究会や論文をまとめ、全国の宗派本山や各ご寺院、仏教以外の各宗教に対し発信することを進めてまいります。宗教を取り巻く社会情勢の目まぐるしい変化の中にあって唯一、ご寺院各位をはじめ日本の宗教に於ける一つの光明となるべく機能を有すると確信致しております。

また、平成三十年度も例年の如くお花まつり、こども花まつり各行事、京都府内の歴史的建造物など数多くの貴重な文化財を地震・火災から守り、保存し、未来へ伝えていく為の「文化財を守り伝える京都府基金」への協力。音舞台シリーズ、施設での護摩木制作等の文化福祉活動。文化財用材確保の為の有識者会議への参加等を前年に引き続き推進して参ります。春秋彼岸焼骨灰法要、お盆の採燈大護摩供、師走の成道会等、例年の宗派を超えた仏教諸行事も実施して参ります。加えて「明日の京都・文化遺産プラットフォーム」も第八回となる「世界遺産ネットワーク会議」や記念フォーラムの開催等本格的な活動を行い、京都に資する様々な提言を行って参ります。

さらに伝統産業に携わる職人の若手育成の為のシステムについては京都府と構築し、神社庁とも協力しあい支援を行って参ります。オフシーズン対策としては冬の「花灯路」、夏の「京の七夕」を本年度もオール京都で積極的に行って参ります。

本年も信教の自由・政教分離の原則を重んじ、各宗教とも情報交換を行い、各識者の方々ともより積極的に交流を行って参ります。

裂古破今（れっこはこん）

仏教は人々にその教えを理解して頂くために様々な方便を用います。方便とは真実の教えに帰入することによって初めて方便と言います。仏教から派生する文化もそうです。茶道、華道、香道、伽藍建築、庭園、襖絵、墨蹟、金工、精進懐石料理、職人と僧侶は互いに切磋琢磨し、今日に伝わるものが数多くあります。その伝える精神とも言うべき禅語に次の言葉があります。

『裂古破今』（古きを裂き今を破る）というのは、伝統の教えに墨守し、それに執着しているだけではいずれその命を失う。また伝統を無視し今に執着し新しさにとらわれてもいけない。要するに過去とか現在とかそういう時間が問題なのではなく、いかに本質を追究し続けてゆくか。まさに、その過去も現在も知り尽くした上で、さらに一歩を進めることが肝要なのです。

私はかつて、相国寺六五〇年遠忌にあたり法堂解体大修理に携わりました。その折、法堂修理の足場を木と縄で組み上げることをあえて選択いたしました。これは昨今の寺社建築も時代の流れで、ステンレス足場が主流となりましたが実際は、足場を木と縄で組み上げることも伝統工法として保存されなくてはならないものなのです。低価格で素早くできるステンレス足場に偏りがちな時代ですが伝統とはそうした流れに対し、いかに本質を追究し続けてゆくかなのです

まだまだ厳しい暑さが続きます。諸大徳の皆様の更なるご健勝を心より祈念申し上げます。

合掌

「宗教と社会研究実践センター」開設にあたって

駒澤大学名誉教授
宗教と社会研究実践センター所長
洗　　建

一　古都税反対闘争

今年四月、京都仏教会が長年の懸案であった財団法人化を果たし「一般財団法人京都仏教会」となった。これに伴い「宗教と社会研究実践センター」という常設の研究所が開設された。これは従来の「宗教と政治検討委員会」、「国家と宗教研究会」を継承するものであるが、その原点となったのは古都税反対闘争の経験である。憲法は無条件で信教の自由を保障し、その保障を確実にするために、政教分離の制度を導入しているが、これによって行政が自動的に宗教団体の自由を守ってくれるわけではない。事実、行政が税収不足に苦しめば、特定の寺院を選定し、その拝観者に間接税として観光税を賦課し、指定した寺院にその徴税・納税をさせる条例を定めることに躊躇はなかった。国家機関が特定の宗教団体を選定し、これに他の宗教団体とは異なる特別な行政上の取り扱いをし、徴税という行政権力の行使をさせることが、憲法に違反することにならないかどうか、行政が慎重な検討を行った形跡は無い。憲法第十二条が述べるとおり、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」のである。宗教団体は受け身の態度であっては、その権利を守ることはできないのであって、自ら能動的に学習し、自由及び権利を脅かす制度や政策に対しては、異議を申し立て、訴訟上の論理を構築し、反対運動を展開し、広く発信する能力を養っておかなければならない。このために、古都税反対運動が終結した折に、京都仏教会はこの反対運動を総括する記録を作成すると共に、各側面からこれを分析する論文の執筆を専門家に依頼した。このときに依頼した研究者を中心に組織したのが、「宗教と政治検討委員会」であった。

全日本仏教会等、宗教関連財団の多くが公益財団法人を目指す中で、京都仏教会があえて一般財団法人を設立することにしたのは、このような学習の成果に基づく高い見識を示すものである。公益法人になるためには、「公益認定に関する法律」によって、公益性審査を受けなければならない。ところが、この法律にいう公益の中に宗教は含まれていない。宗教団体を構成要素とし、参加団体を代表してその共通の問題を解決するために、関係官庁等と折衝するような活動は、この法律では公益とは見做されないのである。毎年報告書を提出して、この法律にいう「公益性」審査を受けることは、憲法の定める政教分離の原則を逸脱して、加盟団体の信教の自由を守ることができないことになってしまう。このような観点から、あえて「公益」の名を捨てて、本来の宗教性を確保するために、一般財団法人を目指したのである。

二　宗教法人法改正反対運動

次に降りかかった大問題は、オウム真理教事件にショックを受けた世論が「宗教法人法を改正すべし」という方向に一気に走り出したことである。しかし、それは一般国民のみならず、マスコミや政治家でさえ、宗教法人法という法律がどのような性格のものかを、ほとんど知らず「所轄庁なら当然に宗教団体を指導・監督すべきだろう」という誤解を前提にした感情的議論だったのである。

宗教法人法は、財産を所有し業者と取引をするなどの法律行為をしなければならない宗教団体が、法人格を取得するための手続き法に過ぎないのであって、所轄庁に与えられている権限は、①設立申請をしている団体が、現に宗教的活動をしている宗教団体であること、②当該団体が定めた法人規則が宗教法人法、その他の法律に違反していないこと、③法人規則の制定・改正等の手続きが法の定めに沿って行われたこと、その三点を確認して認証することに限られている。宗教団体の宗教的活動に、介入したり、指導・監督したりする権限は一切認められていない。なぜなら、宗教的活動の自由は憲法の保障するところであり、国家権力機構が宗教的活動に介入することは、憲法の禁止するところであるからである。宗教法人の「備え付け書類を所轄庁に提出することを義務づけた」法改正は、認証行政上の必要性が無く、提出された書類の使途も限定されていないので、所轄庁が宗教的活動に介入する道を開くことになる可能性が濃厚であり、違憲立法の疑いがある。

京都仏教会の改正反対運動は実らず、改正法は成立してしまったが、この事件を契機に、国家と宗教を巡る諸問題を広く研究するために、従来より多くの研究者に参加して貰い、随時「国家と宗教研究会」を開催し、その成果を出版してきた。「宗教と社会研究実践センター」は、この「国家と宗教研究会」をも継承する研究所である。

三　今後の課題

宗教と社会をめぐる問題を研究する機関は、京都仏教会以外にもいろいろと存在する。たとえば、日本宗教学会や宗教法学会などの学会でも扱われる。また大学にも宗教法制研究所や、学内研究会などがある。国際宗教研究所など他の財団にも「宗教情報リサーチセンター」のような研究所がある。しかし、これらの諸問題を宗教者の立場に立って、宗教側からとのように考え、どのように対応すべきか、という問いに直接答えてくれる研究は滅多に無い。そこで、宗教を取り巻く、様々な社会的、政治的、法律的、商業的な諸問題について、客観的ではあるが第三者的な研究というのではなく、直接宗教者が対応すべき道を示すことができる研究所であることを目指して、「研究実践センター」という名称が選ばれた。

改正宗教法人法の違憲性の問題など、未解決のままの問題が残されているばかりではなく、新たに「厚生年金加入強制」問題や「アマゾンのお坊さん便」のように宗教行為を取り込んで営利事業化する問題など、次々と問題が発生している。あるいは、「国法と宗教団体の内部規範との対立とその調整」研究に文部科学省の科学研究費が支出されるという信教の自由の侵害につながりかねない、微妙な問題も起こっている。当然、これらの課題に本研究所は取り組んでいくことになるが、常設の研究所という恒久的機関になったので、いかに若手を育成するかということが、今後の大きな課題である。このようなテーマに関心を持つ若手の発掘や、その処遇など、衆知を集めて制度的整備を進める必要があろう。

文化遺産を取りまく環境の変化と世界文化遺産ネットワーク会議の役割

明日の京都・文化遺産プラットフォーム
世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議
座長（京都大学大学院教授）

増井　正哉

一・文化遺産と社会の変化

「古都京都の文化財」が、世界文化遺産に登録されたのは平成6年。すでに四半世紀ちかくになります。その間、文化財保護法の改正（平成八年・登録有形文化財や平成十六年・文化的景観の制度化）や平成十六年の景観法の施行など、文化遺産（保護制度のなかで使われる文化財よりも広い意味で使います）やその周辺環境をまもる制度の充実がはかられる一方、平成七年の阪神淡路大震災、平成二十三年の東日本大震災などの自然災害は文化遺産の脆弱性を浮き彫りにしました。また、文化遺産に対する社会の関心は高まりました。登録時、京都の町にこのように観光客があふれることを予想した人はいたでしょうか。京都で観光客がめざすのは、やはり文化遺産なのです。京都だけではなく、どの自治体でもそれぞれの文化遺産の保存と活用を重要な施策の柱にしていることもうなずけます。来年三月に施行される文化財保護法の改正は、これまで施策の核であった「保護」に加えて、「活用」に重点を置くものとされています。このように文化遺産に対する社会のまなざしと取り組みが、めまぐるしく動いてきたのがこの四半世紀であると言えます。

私たちは、文化遺産としての寺社の環境について考えています。寺社の方がたからすると、寺社を文化遺産とみることには抵抗がおありかと思いますが、社会的にはやはり文化遺産としての性格があり、ご容赦いただきたいと思います。信仰の場としての寺社をまもっていくことと、文化遺産として寺社をまもっていくことの齟齬はたしかにあるかもしません。ただ、以下に書く、寺社の環境については、両者を齟齬なく考えることができると思います。

二・文化遺産としての京都の社寺の環境

世界遺産にはバッファゾーンの設定が義務づけられています。これは、遺産の価値を担保するために、周辺地区の環境・景観をコントロールするために設定するものです。これは日本の文化財保護制度にはなく、都市計画で設定し

た他の地域・地区を準用してバッファゾーンにしています。バッファゾーンは緩衝地帯と訳されるために誤解がありますが、より積極的に遺産の価値を高める、よりよく認識させるための周辺環境です。

もともと、京都の寺社にはバッファゾーンに相当する地域が備わっていました。門前の町並み（あるいは寺内町）は、核となる寺社と社会的に深く結びついていましたし、寺社は都市景観のなかで、それに相応しい町並みのなかにありました。寺社の背景をなす山並みは、信仰の場としての寺社の静粛な環境を担保しましたし、庭園の借景ともなりました。また周囲を流れる川や水路も、環境維持の役割はもちろん、火災の備えとしても考えられていました。社会的にも、物理的にも、景観的にも、寺社をまもる役割を果たしてきたわけです。

ただ、鎮守の森でのマンション建設、寺院門前や背後の山並みの開発が話題になったように、これまでの寺社とバッファゾーンの関係に変化が生じてきたのです。これに対して、京都市は昨年度、「眺望景観保全地域」の制度をつくりました。この制度では二十七の寺社の周辺と二十二の眺望点に眺望景観保全地域を設定し、建築行為を行う際の事前協議を求めるものです。厳しい景観規制ではありませんが、建築行為に関わる人たちに、それぞれの眺望景観の保全とその特徴を活かした計画づくりに取り組んでもらうことになり、意識と計画技量の向上に大いに役立つでしょう。まさに世界遺産の制度にあるバッファゾーンの考え方です。しかも世界文化遺産の構成資産だけでなく、対象を広くとったところも重要です。バッファゾーンは、世界文化遺産だけに必要なものではなく、すべての文化遺産にはそれぞれのバッファゾーンがあるべきなのです。京都市は中心市街地の建物の高さを抑える取り組み（ダウンゾーニングと言います）などで、全国の景観行政をリードしてきましたが、今回の「眺望景観保全地域」についても、その効果が期待されます。

また、立命館大学の土岐憲三先生がつねづね言っておられることですが、寺社の周辺は高密度化し、周辺からの類焼の危険性が高まっています。寺社の防災を考える際には、寺社境内のことばかりでなく、避難・誘導も含めた周辺地域と一体となった防災計画が必要で、バッファゾーンの保全の課題となっています。

平安遷都以来、社会的にも環境的にも、寺社は都市・京都のもっとも重要な位置を占めてきました。ただ、バッファゾーンに見られるように、寺社をまもっていくには、京都の都市的環境の変化、また文化遺産を取りまく社会的環境の変化も考慮にいれる必要があり、これは京都の寺社の共通の課題であり、この課題をともに議論する場が求められます。

三．世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議について

明日の京都・文化遺産プラットフォーム（会長：松浦晃一郎前ユネスコ事務局長）は、（一）古都京都の「文化遺産」を毀損することなく後世へ継承すること、（二）「文化遺産」に現代的な課題に応え得る価値を見出し、未来に向けてその存在意義を高めていくこと、（三）百年先を見据え、新たに「未来の文化遺産」を創造することを目ざした組織で、平成二十二年秋に設立されました。文化遺産に関わる幅広い分野の皆さんが参加しています。その活動はさまざまですが、京都の文化遺産所有者の皆様が集い、共通の課題について情報共有と課題解決を検討する場として、世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議があります。これまで、七回の会議を重ねてきました。そこで取り上げられたテーマは、世界遺産の概念、遺産保護の仕組み、寺社周辺の景観問題、バッファゾーン、京都市の新しい景観政策、都市防災など、まさにここで書かせていただいた、急速に変わっていく都市環境のなかで、寺社をはじめとする文化遺産の継承の課題を考えるものです。

直近の今年三月の会議では、想定される大規模地震の際の文化遺産被害についてについて勉強し、また、明日の京都が公益財団法人大学コンソーシアム京都と共同で取り組んでいる京都世界遺産関連科目の成果を学生さんたちに発表してもらった他、京都市が進めようとしている「包括的保存管理計画」について話題提供をいただきました。「包括的保存管理計画」とは、京都のように複数の資産からなる世界遺産について、資産の顕著な普遍的価値をどのように保全すべきか、すべての資産を包含した範囲で明示するもので、平成十七年からは、新規登録時に策定が義務付けられていて、既登録の「古都京都の文化財」でも、資産の保全状況，利用実態，周辺環境などの変化に応じた包括的保存管理計画を策定する必要が生じています。現在、この計画の策定に先立ち，登録時の資産及び緩衝地帯の設定を再確認し，現在に至るまでの資産やバッファゾーンの保護施策、さらにはそれらを取り巻く社会情勢の変化を把握し，策定すべき計画の骨子をつくる作業を始められています。十七の資産を包括的に扱うのですから、たいへんな作業ですが、さまざまな課題を明らかにし、その対応を考えるよい機会でもあります。

このネットワーク会議には、「世界遺産」という名前が付いていますが、それにこだわることはなく、文化遺産の継承に関心ある寺社の皆さんにも広く参加いただいています。周辺景観のこと、境内の維持管理のことなどを含め、都市・京都における文化遺産について共通の課題について語り合う場として、活用いただければと考えています。

平成30年度開催

文化財保護の巡回よろず相談〔無　料〕

主な対象地域	実　施　日　時	実　　施　　会　　場
北　部 ※丹後・中丹・南丹地域	９月６日（木） 午前 10 時 30 分～午後4時	市民交流プラザふくちやま ３階「市民交流スペース」 福知山市駅前町４００番地 電話０７７３―２２－９５５１
南　部 ※京都市・乙訓・山城地域	９月７日（金） 午前10時～午後4時	ルビノ京都堀川 ２階「松」 京都市上京区東堀川下長者町下がる 電話０７５－４３２－６１６１

※地域に関係なく、都合の良い会場にお越しください。

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象に、文化財に係る修理や保存方法、補助金や貸付制度等あらゆる相談、案内を一つの会場内でできる「文化財保護に関する巡回相談事業」として毎年、無料相談を実施していますので、ぜひご利用願います。

≪ 相 談 の 事 例 ≫

＊ 建造物や美術工芸品などの保存・修理の方法　＊ 防災・防犯施設や収蔵庫の整備

＊ 補助金や貸付資金（長期・低利）の対象と申請申込み手続き　など

【 相 談 参 加 機 関 】

〇京都府（文化スポーツ部文教課、各広域振興局）　〇京都府教育庁指導部文化財保護課

〇京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課　　〇京都市消防局予防部

〇公益財団法人京都古文化保存協会　　〇公益財団法人京都市文化観光資源保護財団

〇公益財団法人京都文化財団〔主管〕

【協　賛】京都文化財防災対策連絡会

＊お問合せは、(公財)京都文化財団(文化財保護基金室)☎075－213－3660 まで

「技の継承」事業

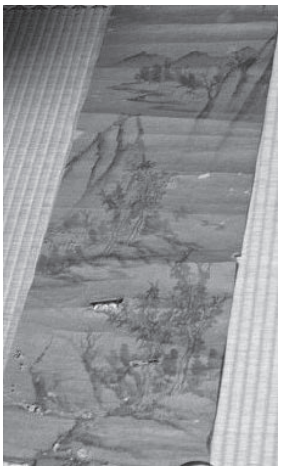
祇園祭各山鉾保存会や府内の神社、寺院が所有する文化資料の復元・新調等を通じて若手職人（京もの認定工芸士）等が京の名工等の指導を受けながら、高度かつ稀少な技術の修得・技術向上を目的とした技術の研鑽・修得を行う。平成二十一年度から、京都府と当会、神社庁、祇園祭山鉾連合会等が協力し行ってきている。

平成二十七年度対象寺院

安養寺（京都市）掛軸三点（修復）

紙本墨画　山水図　青木木米筆　一点

修理前

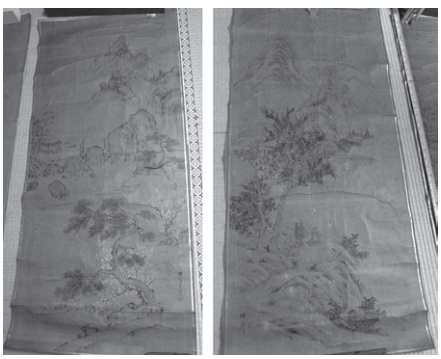


→

修理後

山水図　中村竹渓筆　二点

修理前



→

修理後

事業・活動報告

平成三十年一月一日～平成三十年六月三十日

＊は当会主催の行事・会合

平成三十年

一月　五日　西陣織工業組合新年総会出席　於　西陣織会館
一月十九日　日本基督教団故府上征三氏葬儀参列　於　洛陽教会
一月十九日　明日の京都講座平等院出席　於　平等院浄土院本堂
＊一月二十二日　JR東海「泉涌寺に想いを寄せて」世界遺産対談開催　於　泉涌寺
＊一月三十日　『京佛』新年号会報発送　於　京都仏教会事務所
二月　五日　京都中央葬祭業協同組合新年会出席　於　きのぶ
二月　七日　文化庁移転準備会及び文化庁京都誘致協議会幹事会合同会議出席　於　京都平安ホテル
二月　八日　京都・花灯路推進協議会幹事会出席　於　東山区総合庁舎
二月十五日　公益社会長故松井昭憲氏社葬参列　於　公益社南ブライトホール
＊三月　八日　第95回理事会開催　於　京都仏教会会議室
三月　九日　全日本仏教会加盟団体説明会出席　於　しんらん交流館
三月　九日　京都・東山花灯路二〇一七オープニング出席　於　清水寺大講堂円通殿
＊三月十二日　NGOネパール「虹の家」災害支援金贈呈　於　京都仏教会会議室
三月十三日　世界博物館会議京都大会二〇一九京都推進委員会会議出席　於　平安神宮
三月十三日　明日の京都文化遺産プラットフォーム主催「古都京都の文化財」ネットワーク会議出席　於　立命館大学朱雀キャンパス
三月十七日　京都市深草墓園春季慰霊式典列席　於　深草墓園
三月十九日　京都府「技の継承」事業専門家会議出席　於　祇園祭山鉾連合会
＊三月二十日　春季彼岸焼骨灰供養法要開催　於　相国寺
三月二十二日　京都市観光協会理事会出席　於　ウェスティン都ホテル京都
三月二十七日　会津八一歌碑建立除幕式出席　於　教王護国寺
三月二十八日　京都文化力プロジェクト実行委員会理事会出席　於　京都ガーデンパレス
三月二十九日　京都文化交流コンベンションビューロー評議員会出席　於　京都平安ホテル
四月　三日　黄檗宗大本山萬福寺開山忌参列　於　萬福寺
＊四月　九日　おしゃかさまを讃える夕べ開催　於　ANAクラウンプラザホテル京都
四月十一日　京都府宗教連盟常任委員会出席　於　立正佼成会京都府門館
＊四月二十四日　こどもはなまつり開催　於　京都仏教保育園協会
五月　三日　東京水天宮江戸鎮座二百年奉祝祭参列　於　東京　水天宮
五月　七日　京の七夕実行委員会幹事会出席　於　京都商工会議所
五月　十七日　社会を明るくする運動京都府推進委員会出席　於　京都府立総合福祉会館
＊五月　十九日　宗教と社会研究実践センター第一回公開研究会開催　於　相国寺会議室
五月二十一日　慈照寺開山忌法要参列　於　慈照寺
五月二十二日　京都仏教幼稚園協会花まつり園児大会出席　於　みやこメッセ
五月二十二日　京都仏教幼稚園協会創立九十周年祝賀会出席　於　ホテルグランヴィア京都
五月二十五日　京都市観光協会理事会出席　於　ハイアットリージェンシー京都
六月　五日　京都府宗教連盟委員総会出席　於　北野天満宮文道会館
六月　九日　宗教法制研究会・宗教法学会出席　於　愛知学院大学名城公園キャンパス
六月　十一日　京都市観光協会定時総会・理事会出席　於　ANAクラウンプラザホテル京都
六月　十一日　清水寺国家安泰世界平和祈願献花祭参列　於　清水寺本堂
＊六月　十四日　一般財団法人京都仏教会第一回理事会開催　於　京都仏教会会議室
六月　十五日　京都市長対談企画「京都人大好きトーク」宮城常務理事出席　於　二条城香雲亭
六月　二十日　大湊興業株式会社創立百周年記念法要　於　慈照寺
六月二十四日　知床法要参列　於　知床
＊六月二十七日　宗教と社会研究実践センター運営委員会開催　於　東急ホテル
＊六月二十八日　一般財団法人京都仏教会評議員会開催　於　京都仏教会会議室
六月二十九日　京都文化交流コンベンションビューロー評議員会出席　於　京都平安ホテル
六月二十九日　明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会出席　於　立命館大学朱雀キャンパス

平成29年度 京都仏教会決算報告書

前期繰越金　1,168,515円
当期歳入総額　62,637,743円
当期歳出総額　63,171,417円
次期繰越金　634,841円

自　平成29年4月1日
至　平成30年3月31日

【歳入の部】　（単位：円）

款	項	目	科目	予算額	決算額	増減
			前年度繰越金	1,168,515	1,168,515	0
1			会費収入	3,200,000	3,347,500	147,500
	1		会費・賛助金	3,200,000	3,347,500	147,500
		1	一般寺院会費	2,400,000	2,486,500	86,500
		2	賛助会費	800,000	861,000	61,000
2			活動協力金収入	29,550,000	27,448,837	−2,101,163
	1		教化伝道	29,500,000	27,365,757	−2,134,243
		1	参加勤行	17,500,000	16,715,823	−784,177
		2	骨灰法要	500,000	442,000	−58,000
		3	墨蹟展	1,500,000	120,000	−1,380,000
		4	護摩木供養	2,500,000	2,442,934	−57,066
		5	花まつり	2,500,000	2,625,000	125,000
		6	観光推進	3,000,000	3,020,000	20,000
		7	世界文化遺産	2,000,000	2,000,000	0
	2		広報・出版	50,000	83,080	33,080
		1	開運暦	50,000	83,080	33,080
3			寺院協力金	28,135,300	27,880,555	−254,745
4			財団設立預金取崩	2,000,000	2,000,000	0
5			未払金の増加額		1,761,507	1,761,507
6	1		雑収入	31,000	199,344	168,344
		1	運用収入	1,000	278	−722
		2	雑収入	30,000	199,066	169,066
			合計	64,084,815	63,806,258	−278,557

【歳出の部】　（単位：円）

款	項	目		予算額	決算額	増減
1			事務局費	34,590,000	33,132,651	−1,457,349
	1		人件費	25,100,000	23,741,111	−1,358,889
		1	職員俸給	19,500,000	19,888,235	388,235
		2	厚生費	3,000,000	3,282,986	282,986
		3	通勤費	600,000	569,880	−30,120
		4	退職準備金	2,000,000	10	−1,999,990
	2		管理費	6,690,000	6,697,984	7,984
		1	通信・運搬費	600,000	600,983	983
		2	印刷費	300,000	268,333	−31,667
		3	備品費	450,000	437,190	−12,810
		4	消耗品費	200,000	233,932	33,932
		5	借館費	1,848,000	1,848,000	0
		6	水道・光熱費	200,000	168,643	−31,357
		7	旅費・交通費	1,000,000	1,026,755	26,755
		8	諸会負担金	600,000	613,200	13,200
		9	弁護士報酬	432,000	418,800	−13,200
		10	会計士報酬	710,000	695,520	−14,480
		11	営繕管理費	50,000	35,368	−14,632
		12	その他諸経費	300,000	351,260	51,260

（単位：円）

款	項	目	科目	予算額	決算額	増減
	3		渉外・旅費	1,700,000	1,648,300	−51,700
		1	渉外費	900,000	821,297	−78,703
		2	慶弔費	400,000	444,406	44,406
		3	交際費	400,000	382,597	−17,403
	4		諸会議費	850,000	823,665	−26,335
		1	単仏・参勤会議	150,000	136,000	−14,000
		2	その他諸会議	700,000	687,665	−12,335
	5		調査費	250,000	221,591	−28,409
		1	資料収集費	250,000	221,591	−28,409
2			活動経費	29,490,000	30,038,766	548,766
	1		教化伝道活動	19,900,000	20,148,358	248,358
		1	参加勤行	8,500,000	8,476,613	−23,387
		2	骨灰法要	1,600,000	1,796,798	196,798
		3	墨蹟展	500,000	600,496	100,496
		4	護摩木供養	800,000	888,538	88,538
		5	観光推進	1,500,000	1,398,026	−101,974
		6	仏教諸行事関連	1,200,000	1,312,769	112,769
		7	花灯路事業	200,000	200,000	0
		8	花まつり	4,200,000	4,162,599	−37,401
		9	成道会	300,000	293,929	−6,071
		10	永年勤続表彰	300,000	244,735	−55,265
		11	国際文化交流費	800,000	773,855	−26,145
	2		広報・出版活動	2,550,000	2,563,643	13,643
		1	暦・諸出版他	200,000	233,652	33,652
		2	機関誌発行	2,300,000	2,286,611	−13,389
		3	ホームページ運営費	50,000	43,380	−6,620
	3		その他	7,040,000	7,326,765	286,765
		1	宗教と政治問題研究活動	1,500,000	1,126,032	−373,968
		2	文化財保護対策費	150,000	59,361	−90,639
		3	世界文化遺産	2,000,000	2,027,200	27,200
		4	明日の京都補助金	200,000	200,000	0
		5	国家と宗教講演録補填金	200,000	221,326	21,326
		6	時局対策金	100,000	0	−100,000
		7	財団設立準備金	2,000,000	2,118,651	118,651
		8	立替金増加額		536,812	536,812
		9	未払金の減少額	890,000	897,264	7,264
		10	預り金の減少額		140,119	140,119
			予備費	4,815	0	−4,815
			次期繰越金	0	634,841	634,841
			合計	64,084,815	63,806,258	−278,557

別紙の通り報告します。

平成30年5月15日
京都仏教会

理事長　有馬頼底　印
評議員(財務担当)　大西真興　印
事務局長　長澤香静　印

帳簿、証票書類を監査の結果、別紙の通り相違ないことを確認しました。

平成30年5月15日
京都仏教会

監事　山木康稔　印
監事　中村覚祐　印

平成30年度　事 業 計 画

〈総務部〉

〈＊は新規事業〉

1．諸　会　議	1．役 員 会	1．理事会　　年４回
		2．評議員会　　年１回以上
		3．参事会　　随時
	2．各種会議	1．参勤僧会議　　年２回以上
＊	3．宗教と社会研究実践センター	＊1．宗教と社会研究実践センター研究会　年２回以上
		2．運営委員会
	4．諸団体連絡会議	1．全日本仏教会　　2．近畿宗教連盟
		3．京都府宗教連盟　　4．日本宗教連盟
		5．京都商工会議所　　6．京都市観光協会
		7．京都文化交流コンベンションビューロー
		＊8．東京都仏教連合会
		＊9．東京都宗教連盟
		10．明日の京都 文化遺産プラットフォーム
	5．懇 親 会	1．懇親会　　年１回
2．広報・調査	1．広　　報	1．会報の刊行　　年２回
		2．会員への情報提供（随時） （税務・環境問題・法人問題など）
		3．仏教会ホームページ運営 （＊宗教と社会研究実践センターとの連携）
	2．調　　査	1．各種調査・研究・統計・資料収集 （時事問題の分析）
3．渉　　外	1．慶　　弔	1．慶弔（本山寺院及び一般関係）
	2．渉　　外	1．中央省庁・府市行政との交流 （＊文化庁京都移転に伴う地域創生本部との交流）
		2．京都にて開催の行事・国際会議等への協力
4．時 事 対 策	1．組織強化	1．加入寺院・未組織地域の組織化
		2．賛助会員強化
	2．時事対策	＊1．寺院の厚生年金加入問題
		＊2．大石氏科研問題（宗制・宗規）

〈事業部〉

1．仏教文化・調査・研究広宣	1．仏教文化の啓蒙・広宣・保護	1．仏教文化の研究などの奨励・協賛
		2．京都文化財団との交流
2．教化・伝道事業	1．仏教美術・文物紹介	1．仏教番組の企画監修 （毎日放送において 「京都知新」、「京都プロジェクト室」）
		2．大日本印刷「京都太秦文化遺産ギャラリー」の監修
	2．講演活動	1．各宗派管長による仏教文化講演会の全国開催
	3．音舞台シリーズ	＊1．本年度第31回は東大寺にて開催
	4．仏教思想の実践活動	1．地域福祉活動・青少年育成 （授産施設「のぞみ学園」、 福祉施設・仏教老人ホーム、保育園への慰問）

		2．カウンセリング（信仰問題・情報提供）
		3．文化財を守り伝える京都府基金
		4．災害募金箱の設置
		＊　京都「国際学生の家」老朽化への支援
	5．仏教諸行事	1．お花まつり・こども花まつり
		2．盂蘭盆会大護摩供法要・成道会
		3．京の七夕神仏合同法要（清水寺）
	6．合同慰霊行事	1．参加勤行（中央斎場の読経僧）
		2．深草墓園（京都府宗教連盟共催）
		3．春秋彼岸焼骨灰供養法要 （京都中央葬祭業協同組合共催）
3．寺院運営援助事業	1．寺院援助活動	1．宗教法人の財務・税務及び法律対策 （顧問弁護士・税理士の派遣）
		2．永年勤続住職の表彰 （50年知事表彰　30年理事長表彰）
		3．京都府伝統産業人材育成補助事業
	2．宗教法人法の研究・啓蒙活動	1．各本山、地方の教区での宗教法人法に関する研修会への協力
	3．寺院運営研修案内	1．包括宗教法人管理者研究協議会 宗教法人実務者研修会（文化庁）
		2．人権研修会（京都府・全日仏）
4．広報・出版事業	1．定期刊行物	1．会報年２回
		2．開運暦・図書紹介
	2．研究小冊子発行	＊1．宗教と社会研究実践センター研究会講演録 ―宗制・宗規についての考察―
5．その他諸事業	1．各種関連協議会	1．文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議
		2．外来種生物の文化財に与える影響について （関西野生生物研究所）
		3．明日の京都文化遺産プラットフォーム （立命館大学）

〈観光推進事業部〉

1．諸 会 議	1．役 員 会	1．観光推進事業部会議
	2．諸団体連絡会議	1．京都市観光協会との会議
		2．各種観光関連業界との会議
2．関連事業	1．事　　業	1．「京都・花灯路」事業（東山・嵐山界隈）
		2．オフシーズン夏の企画第9回「京の七夕」 （京都府・京都市・ 京都商工会議所・京都市観光協会・ 京都文化交流コンベンションビューロー）
		3．京都歴史遺産寺院企画（JR東海）
		4．特別拝観企画の実施 （クラブツーリズムとの共同企画）
		5．海外インバウンド特別拝観企画 （阪急阪神ビジネストラベル）
		6．京都府内北部・南部観光開発（京都府と連携）

平成30年度　予　算　書

当期歳入総額　70,551,141 円
当期歳出総額　70,551,141 円

自　平成30年 4 月 2 日
至　平成31年 3 月31日

【歳入の部】　（単位：円）

款	項	目	科目	本年度予算額	昨年度予算額	備考
			前年度繰越金	634,841	1,168,515	
1			会費収入	3,200,000	3,200,000	
	1		会費・賛助金	3,200,000	3,200,000	
		1	一般寺院会費	2,400,000	2,400,000	¥2,000(1口)
		2	賛助会費	800,000	800,000	¥3,000(1口)
2			活動協力金収入	32,950,000	36,150,000	
	1		教化伝道	30,100,000	32,300,000	
		1	参加勤行	16,000,000	17,500,000	
		2	骨灰法要	400,000	500,000	
		3	墨蹟展	500,000	1,500,000	
		4	護摩木供養	2,400,000	2,500,000	
		5	花まつり	3,000,000	2,500,000	
		6	観光推進	3,000,000	3,000,000	
		7	世界文化遺産	2,000,000	2,000,000	
		8	「明日の京都」文化遺産プラットフォーム	2,800,000	2,800,000	
	2		広報・出版	50,000	50,000	
			開運暦	50,000	50,000	
	3		宗教と社会研究実践センター協力金	2,800,000		
			「宗制・宗規についての考察」刊行協力金	2,800,000		
	4		「国家と宗教研究会講演録」刊行協力金		3,800,000	
3			特別寺院協力金	24,035,300	28,135,300	
4			雑収入	31,000	31,000	
	1		雑収入	31,000	31,000	
		1	普通預金利息	1,000	1,000	
		2	雑収入	30,000	30,000	
			財団設立預金取崩		2,000,000	
			預金取崩	9,700,000		
			歳入合計	70,551,141	70,684,815	

【歳出の部】　（単位：円）

款	項	目	科目	本年度予算額	昨年度予算額	備考
1			事務局費	34,298,000	34,590,000	
	1		人件費	24,400,000	25,100,000	
		1	職員俸給	20,000,000	19,500,000	事務局員３名他２名
		2	厚生費	3,300,000	3,000,000	社会保険料等
		3	通勤費	600,000	600,000	
		4	退職準備金	500,000	2,000,000	
	2		管理費	7,298,000	6,690,000	
		1	通信・運搬費	600,000	600,000	郵便・宅配便等
		2	印刷費	300,000	300,000	コピー機保守料他
		3	備品費	600,000	450,000	什器・車両関係
		4	消耗品費	200,000	200,000	
		5	借館費	1,848,000	1,848,000	事務所家賃

（単位：円）

款	項	目	科目	本年度予算額	昨年度予算額	備考
		6	水道・光熱費	200,000	200,000	水道・電気
		7	旅費・交通費	1,000,000	1,000,000	
		8	諸会負担金	600,000	600,000	全日仏・府宗連等
		9	顧問報酬	1,600,000	1,142,000	弁護士·会計士·行政書士
		10	営繕管理費	50,000	50,000	
		11	その他諸経費	300,000	300,000	
	3		渉外・旅費	1,700,000	1,700,000	
		1	渉外費	900,000	900,000	
		2	慶弔費	400,000	400,000	
		3	交際費	400,000	400,000	
	4		諸会議費	650,000	850,000	
		1	単仏・参勤会議	150,000	150,000	
		2	その他諸会議	500,000	700,000	
	5		調査費	250,000	250,000	
		1	資料収集費	250,000	250,000	調査・研究を含む
2			活動経費	36,230,158	36,090,000	
	1		教化伝道活動	19,500,000	19,900,000	
		1	参加勤行	8,500,000	8,500,000	参勤僧8名法礼等
		2	骨灰法要	1,600,000	1,600,000	
		3	墨蹟展	500,000	500,000	来年５月開催予定上海墨蹟展準備費用
		4	護摩木供養	800,000	800,000	
		5	観光推進	1,400,000	1,500,000	
		6	仏教諸行事関連	1,300,000	1,200,000	
		7	花灯路事業	200,000	200,000	
		8	花まつり	4,200,000	4,200,000	こども花まつり・福祉施設配布等含む
		9	成道会	300,000	300,000	
		10	永年勤続表彰	300,000	300,000	
		11	国際文化交流費	400,000	800,000	日台交流京都展
	2		広報・出版活動	2,550,000	2,550,000	
		1	暦・諸出版他	200,000	200,000	
		2	機関誌発行	2,300,000	2,300,000	年２回発行
		3	ホームページ運営費	50,000	50,000	
	3		宗教と社会研究実践センター	5,050,000		
		1	「宗制·宗規についての考察」刊行等費用	3,000,000		
		2	公開研究会費	500,000		公開研究会４回開催（内東京２回）
		3	旅費交通費	300,000		
		4	研究員諸費用	1,050,000		研究員顧問料４名
		5	その他運営費	200,000		
	3		その他	9,130,158	13,640,000	
		1	宗教と政治問題研究活動費		1,500,000	
		2	「国家と宗教講演録」刊行費等		4,000,000	
		3	文化財保護対策費	150,000	150,000	文化財の森等
		4	世界文化遺産	2,000,000	2,000,000	JR東海対談企画等
		5	明日の京都協力金	3,000,000	3,000,000	
		6	時局対策金	100,000	100,000	
		7	財団設立準備金		2,000,000	
		8	財団設立諸経費	2,118,651		
		9	未払費用	1,761,507	890,000	
			予備費	22,983	4,815	
			歳出合計	70,551,141	70,684,815	

●仏教会報告●

諸会議

［平成二十九年］

◆明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会

［七月四日］

明日の京都文化遺産プラットフォームによる平成二十九年度理事会が立命館朱雀キャンパスにて開催され、「平成二十九年度以降の役員選任」「平成二十八年度事業報告・収支決算報告・会計監査」「平成二十九年度事業計画・収支予算」について協議、承認された。

当会からは有馬理事長の代理として砂原秀輝理事が出席した。

◆近畿宗教連盟平成二十九年度常任理事会

［七月十八日］

近畿宗教連盟平成二十九年度常任理事会が立正佼成会京都普門館において開催された。九州豪雨犠牲者慰霊の黙祷後、荒木理事長より挨拶があり、議案「平成二十八年度事業報告」「平成二十八年度会計決算報告並びに会計監査報告」「平成二十九年度事業計画案」「平成二十九年度予算案」「平成二十九年度本部役員」について審議され、続いて第六十九回和歌山総会開催要項について検討された。

当会からは荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆京の七夕実行委員会・幹事会

［七月二十日］

京都商工会議所において、京の七夕実行委員会・幹事会が開催され、平成二十九年度の事業内容について討議された。

当会からは荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆京都中央葬祭業協同組合通常総会

［七月二十日］

京都中央葬祭業協同組合通常総会がホテルグランヴィア京都にて開催され、「平成二十八年度事業報告及び収支決算並びに監査報告」「平成二十九年度事業計画及び収支予算承認の件」「賦課金の額等及び組合借入金最高限度額決定の件」「任期満了による役員改選」について議事が進行され、その後懇親会が開かれた。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆明日の京都「文化財保護法の一部改正」に関する研究会

［七月二十六日］

明日の京都文化遺産プラットフォームによる「文化財保護法の一部改正」に関する研究会が立命館朱雀キャンパスにて開催され、京都市景観政策課の上原智子氏を招き、京都市の取組み「歴史的景観の保全に関する具体的施策」の観点から話題提供頂き討議が行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆京都府宗教連盟委員総会

［七月二十八日］

京都府宗教連盟委員総会が六孫王神社において開催された。

第一部の委員総会に次いで、第二部は「神道の布教活動を通じて見えた昨今の日本人の宗教観」と題し、平岡八幡宮宮司・佐々木俊輔氏による記念講演が行われた。

当会からは北川隆法理事、吉田清順評議員、中村覚祐監事、田村祐一師、長澤香静事務局長が出席した。

●仏教会報告●

◆参勤僧会議

［八月一日］

現在参勤従事各宗派僧侶も充実し、斎場の勤行に日々精励いただいている。この日は南禅寺順正において、お盆期間の参勤体制が話し合われ、その後懇親会が行われた。

◆ＪＲ委員会・京都観光宣伝協議会総会

［八月二十二日］

京都市観光協会によるＪＲ委員会がリーガロイヤルホテル京都において開催された。

「平成二十八年度事業報告並びに決算報告」「平成二十九年度事業計画案並びに予算案」について協議され、承認された。続いて京都観光宣伝協議会総会が開催され「平成二十八年度事業報告・収支報告並びに監査報告」「平成二十九年度事業計画案・収支予算案」「役員改選の件」について審議された。

当会からは、吉田清順評議員が出席した。

◆近畿宗教連盟平成二十九年度和歌山総会

［九月五日］

第六十九回近畿宗教連盟平成二十九年度和歌山総会が高野山大学・大圓院にて開催された。開会セレモニーの後、第一部定期総会が開催され、「平成二十八年度事業報告・会計決算報告ならびに会計監査報告」「平成二十九年度事業計画（案）・予算（案）」「平成二十九年度本部役員」について審議され、承認された。第二部は「いのちのケアのための良きコミュニケーション」と題し高野山大学文学部人間学科准教授森崎雅好師による、記念講演が行われた。当会からは荒木元悦常務理事、田村祐一師、長澤香静事務局長が出席した。

◆第九十四回理事会

［九月六日］

第九十四回理事会が、京都仏教会会議室にて開催され、京都大学名誉教授大石真氏の学術調査「国家と宗教法人の自治規制との対立・調査に関する研究」について、オブザーバーとして櫻井圀郎行政書士にご出席頂き、説明を受けた後討議され、大石氏に対して質問状を京都仏教会名で郵送。各宗派本山、各宗教団体に対して当会としては資料提供の拒否等の見解を示し、今後も事務局で櫻井氏とともに作業を進めることを満場一致にて承認された。

続いて、「文化審議会文化財文化企画調査」「京の森林文化を守り育てる支援事業助成団体募集の案内」「九州北部（日田・朝倉・東峰村）災害救援基金」について報告された。

◆宗教法人関係者南部地域・北部地域人権問題研修会

［九月十三・十五日］

京都府と京都府宗教連盟共催による平成二十九年度宗教法人関係者人権問題研修会が九月十三日京都ガーデンパレス（南部会場）、九月十五日みやづ歴史の館中央公民館（北部地域）において開催された。

「子どもの貧困と人権」と題し、ＮＰＯ法人山科醍醐こどものひろば理事長村井琢哉氏による講演が行われ、引き続き、啓発ビデオ「ヒーロー」～無縁社会と家族～が上映された。北部、南部会場ともに宗教関係者や檀信徒らが多数参加し、一人ひとりの人権が尊重

●仏教会報告●

される地域社会の実現に向け有意義な研修会となった。
当会からは、荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆世界博物館会議京都大会二〇一九組織委員会

［十月六日］

二〇一九年に京都市で開催される世界博物館会議京都大会組織委員会会議が平安神宮にて開催され、新規就任委員の紹介の後、京都大会の準備進捗状況についての報告があり、今後解決すべき課題、予定について討議された。

◆京都テロ対策ネットワーク宿泊部会

［十月十一日］

京都テロ対策ネットワーク宿泊部会が京都府警本部にて開催された。「国際テロ情勢」「官民一体のテロ対策の概要及び不審物件対策」「不審宿泊者着眼点と通報事例の紹介」「海外のセキュリティチェック状況」について各担当者より説明があり、その後質疑応答がなされた。
当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆京の七夕実行委員会幹事会

［十一月十三日］

京の七夕実行委員会幹事会が京都商工会議所にて開催され、平成二十九年度事業報告がなされた。当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆大阪府仏教徒大会

［十一月十五日］

第五十二回大阪府仏教徒大会がホテル日航大阪にて開催された。
はじめに、全国災害物故者追悼法要、大阪府仏教会会員物故者追悼法要が営まれ、続いて、「現代人の忘れもの～物から心の時代へ～」と題し、法相宗大本山薬師寺管主村上太胤猊下の講演、その後記念パーティーが行われた。
当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆京都府宗教法人関係者人権問題研修会

［十一月十六日］

京都府、京都府宗教連盟と同和問題の取り組む京都府宗教者連絡会議（京都同宗連）共催による平成二十九年度宗教法人関係者人権問題研修会が真宗教化センターしんらん交流館において開催された。「いま、ここ」にある部落差別の現実を演題に、解放社会学研究所所長江嶋修作氏による講演後、「天理教の取り組みについて」と題し、活動報告がなされ、最後に啓発映画「そんなの気にしない」が上映された。
当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆大阪府宗教連盟理事総会

［十一月十六日］

大阪府宗教連盟理事総会が金光教泉尾教会にて開催された。
「平成二十八年事業報告」「平成二十八年度会計・特別会計報告・監査報告」「平成二十九年度予算案」「規約及び施行細則の変更」「任期満了に伴う新役員」について」審議、承認された後、『宗教の社会的つながり：防災・見守り・観光』を演題に大阪大学大学院教授稲場圭信氏による講演会が行われた。

●仏教会報告●

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆相国寺強化活動委員会

［十一月二十五日］

相国寺強化活動委員会が相国寺事務棟講堂にて開催された。京都大学名誉教授大石眞氏より各宗教団体に送付された「科研費補助金による学術調査への協力依頼」についての内容が、疑問と懸念を抱かせるものであったため、大石氏を講師に招き研修会が開かれ、各宗教団体、学者が出席し話し合いの機会がもたれた。

当会からも多くの役員が出席し、質疑応答がなされた。

◆京都テロ対策ネットワーク総会

［十一月二十八日］

京都テロ対策ネットワーク総会が京都府警本部にて開催された。新規参画予定団体の承認、テロ対策ネットワーク活動の報告があり、続いて警察庁警備局外事情報部テロリズム対策課による演題「国際テロ情勢及び民間事業者におけるテロ対策について」の講演、その後、参画団体におけるテロ対策への取組紹介、最後に質疑応答がなされた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆参勤僧会議

［十一月二十九日］

現在参勤従事各宗派僧侶も充実し、斎場の勤行に日々精励いただいている。この日は南禅寺順正において、年末年始の参勤体制が話し合われ、その後忘年会が行われ懇親を深めた。

［平成三十年］

◆文化庁移転準備会及び文化庁京都誘致協議会幹事会合同会議

［二月七日］

文化庁移転準備会及び文化庁京都誘致協議会幹事会合同会議が京都平安ホテルにて開催され、「新・文化庁の組織体制及び本格移転庁舎」「平成三十年度文化庁予算」「平成三十年度の京都府及び京都市の文化関係事業」「地域文化創生本部の取組」について文化庁職員からの説明と京都側の取組状況の説明を受けた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆京都・花灯路推進協議会幹事会

［二月八日］

京都・花灯路推進協議会幹事会が東山区総合庁舎にて開催された。「東山花灯路―二〇一八事業計画（案）」「東山花灯路全体指揮・責任体制及び通信連絡体制（案）」「嵐山花灯路オープニングイベント（案）」「平成三十年度「京都・花灯路」日程（案）」について協議され、嵐山花灯路―二〇一七実施、第十回創作行灯デザインコンペ審査結果、照明器具等貸出状況について報告がなされた。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した

●仏教会報告●

◆第九十五回理事会

［三月八日］

第九十五回理事会を京都仏教会会議室にて開催した。第一号議案一般財団法人京都仏教会設立の件について、京都仏教会が設立者となり平成三十年四月二日を以て「一般財団法人京都仏教会」を設立することについて、第二号議案宗教と社会研究実践センターの設置の件について、一般財団法人京都仏教会の設立と同時に「宗教と社会研究実践センター」を設置することについて、慎重審議の結果、全員一致で可決した。なお、議場の提案により、設置後の宗教と社会研究実践センターの運営に関して、「センターは現代の宗教を取り巻く社会における少子高齢化、人口減少、寺院の減少、無住および貧困寺院の増加、信仰の希薄化が発生している現状を踏まえてとりくむものとする。」との付帯決議をした。

◆全日本仏教会加盟団体説明会

［三月九日］

全日本仏教会加盟団体説明会「厚生年金加入問題について」がしんらん交流会にて開催された。宗教法人への厚生年金加入促進に関する動きが全国的な広がりを見せる中、加盟団体や寺院からの相談が多数寄せられていることから厚生労働省年金局担当者を招き厚生年金加入問題について現況報告を受けた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆世界博物館会議京都大会二〇一九京都推進委員会会議

［三月十三日］

世界博物館会議京都大会二〇一九京都推進委員会会議が平安神宮御鎮座百年祭記念事業記念殿に於いて開催され、「平成二十九年度事業報告」「平成三十年度事業計画案」について審議承認された。

当会からは吉田清順評議員が出席した。

◆第七回世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議

［三月十三日］

京都、滋賀の文化遺産所有者が集い共通の課題について情報共有と課題解決を検討する場として平成二十三年度の開催以来、第七回目を迎える世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議が立命館大学朱雀キャンパスにて開催された。第一部は『文化遺産における地震災害』をテーマに立命館大学教授土岐憲三氏の講演、『世界遺産「古都京都の文化財」の包括的保存管理計画』をテーマに京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課課長中川慶太氏による講演の後意見交換がなされた。第二部は大学コンソーシアム京都と幣団体の連携事業としている京都世界遺産ＰＢＬ（課題発見・解決型学習）科目の平成二十九年度の事例紹介が受講学生より行われた。

◆京都府「技の継承」事業専門家会議

［三月十九日］

京都府「技の継承」事業専門家会議が祇園祭山鉾連合会にて開催され、平成二十九年度事業報告、三十年度の候補物件について審議された。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆京都市観光協会理事会

［三月二十二日］

京都市観光協会理事会がウェスティン都ホテル京都にて開催された。「平成三十年度事業計画案」「平成三十年度予算案」「平成三十年度資金調達及び設備投資の見込み」「平成三十年度資金運用執行方針及び計画案」「平成三十年度定時総会開催」「ＪＲ委員会の委員の補欠選任」その他について審議承認された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

●仏教会報告●

◆京都市文化力プロジェクト実行委員会理事会

［三月二十八日］

京都市文化力プロジェクト実行委員会理事会が京都ガーデンパレスにて開催され、「平成二十九年度事業報告及び収支計算見込（案）」「平成三十年度事業計画（案）及び収支予算（案）」等について協議された。

当会からは坂口博翁理事が出席した。

◆京都文化交流コンベンションビューロー評議員会

［三月二十九日］

京都文化交流コンベンションビューロー評議員が京都平安ホテルにて開催された。

議案事項として、「平成三十年度事業計画に関する件」「平成三十年度収支予算に関する件」「平成二十九年度収支予算の補正に関する件」について審議された。

また、「平成二十九年度の職務の執行状況」「名誉顧問及び顧問の再任」「就業規定及び給与規定の一部改正」「京都経済センター（仮称）への移転」について報告された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆京都府宗教連盟常任委員会

［四月十一日］

京都府宗教連盟常任委員会が立正佼成会京都普門館にて開催された。

議案事項として「深草墓園樹木葬」「平成三十年度委員会総会開催」「近畿宗教連盟第七十回京都総会開催」について協議承認された。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆京の七夕実行委員会幹事会

［五月七日］

京の七夕実行委員会幹事会が開催され、「平成二十九年度決算」「平成三十年度予算」「平成三十年度事業計画等」について意見交換が行われた。

◆社会を明るくする運動京都府推進委員会

［五月十七日］

第六十八回「社会を明るくする運動」京都府推進委員会会議がハートピア京都にて開催された。

第六十七回「社会を明るくする運動」京都府推進委員会実施結果報告・収支決算、第六十八回「社会を明るくする運動」京都府実施要綱（案）・行事計画（案）・収支予算（案）について審議、承認された。引き続き構成機関・団体から取組発表及び今後の活動の報告等が行われた。

当会からは吉田清順評議員が出席した。

◆宗教と社会研究実践センター第一回公開研究会

［五月十九日］

京都仏教会が四月二日、一般財団法人として発足し、同時に、従来の「宗教と政治検討委員会」及び「国家と宗教研究会」を継承し、その成果業績を引き継いで、「宗教と社会研究実践センター」を設置、同センターの発足にあたり大本山相国寺会議室にて第一回目の公開研究会を開催した。「住職／宮司／牧師らは労働者か?」と題し、宗教専門職と

●仏教会報告●

厚生年金・社会保険・労働基準法・給与所得税の諸問題について、センター第二部主任研究員でもある行政書士櫻井圀郎氏が講演、その後自由討議が行われた。

◆京都市観光協会理事会

［五月二十五日］

京都市観光協会理事会がハイアットリージェンシー京都にて開催された。議案事項として、「平成二十九年度事業報告・決算」「役員の選任案」について審議承認された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆平成三十年度京都府宗教連盟委員総会

［六月五日］

平成三十年度京都府宗教連盟委員総会が本年は北野天満宮文道会館において開催された。総会は各宗教の相互理解を深める為、毎年開催されている。第一部の委員総会に次いで、第二部は「天神信仰の由来」と題し、北野天満宮宮司橘重十九氏による記念講演が行われた。

当会からは荒木元悦常務理事、田村祐一師、長澤香静事務局長が出席した。

◆第三十六回宗教法制研究会・第七十六回宗教法学会

［六月九日］

第三十六回宗教法制研究会・第七十六回宗教法学会が愛知学院大学名城公園キャンパスにて開催された。午前の部では「寺院紛争の解決方法」と題し、雨宮真歩氏（弁護士）、「宗教と税を考える」と題し、三木義一氏（青山学院大学）研究報告を行った。続いて午後の部では宗教法学会の総会が行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆京都市観光協会平成三十年度定時総会・理事会

［六月十一日］

京都市観光協会平成三十年度定時総会がＡＮＡクラウンプラザホテル京都にて開催された。総会では「平成二十九年度事業報告及び決算」「役員の選任」について決議され、「平成三十年度事業計画・予算案」についての報告、最後に観光事業関係者の表彰が行われた。続いて理事会が開催され、「代表理事の選定及び副会長の職務代行の順序」「専務理事、常務理事の選定」「委員会委員の選定」「顧問・相談役・参与の選任」等について審議承認された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆第一回理事会

［六月十四日］

一般財団法人京都仏教会設立後、第一回目の理事会を当会事務所会議室において開催した。第一号議案は本法人の設立者である京都仏教会の権利義務を本法人が継承している事から、平成二十九年度の事業報告及び収支決算について事務局長から説明、監事より監査報告がなされた後、審議承認された。第二号議案、平成三十年度事業計画及び収支予算についても

●仏教会報告●

事務局長の説明後、審議承認された。その後、「本年度の音舞台」「ネパール『虹の家』への義援金贈呈」「宗教と社会研究実践センター公開研究会」「京都府伝統産業人材育成事業」について事務局長より報告された。

◆宗教と社会研究実践センター運営委員会

［六月二十七日］

宗教と社会研究実践センター運営委員会を東急ホテルにて開催した。主任研究員の学者と当会の担当理事らによる運営委員会が開催され、一、第一回公開研究会の反省点。二、第二回以降に向けてのテーマ。三、研究会の東京開催について。四、発信、見解文作成について等が討議された。

◆一般財団法人京都仏教会評議員会

［六月二十八日］

六月十四日開催の一般財団法人京都仏教会理事会の議案承認を受け、評議員会を当会事務所会議室において開催した。第一号議案、京都仏教会平成二十九年度の事業報告及び収支決算について事務局長から説明、監事より監査報告がなされた後、審議承認された。第二号議案、一般財団法人京都仏教会平成三十年度事業計画及び収支予算についても事務局長の説明後、審議承認された。その後、「本年度の音舞台」「ネパール『虹の家』への義援金贈呈」「宗教と社会研究実践センター公開研究会」「京都府伝統産業人材育成事業」について事務局長より報告された。

◆京都文化交流コンベンションビューロー評議員会

［六月二十九日］

京都文化交流コンベンションビューロー評議員会が京都平安ホテルにて開催された。

「平成二十九年度事業報告に関する件」「平成二十九年度決算に関する件」「平成三十年度収支予算の補正に関する件」について、審議承認された。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会

［六月二十九日］

明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会が立命館大学朱雀キャンパスにて開催され、「平成三十年度以降の役員選任」「平成二十九年度事業報告」「平成二十九年度収支決算報告」「平成二十九年度会計監査報告」「平成三十年度事業計画」「平成三十年度収支予算」その他について協議、承認された。

当会からは有馬理事長の代理として長澤香静事務局長が出席した。

●仏教会報告●

行事

［平成二十九年］

◆エムケイ株式会社創業者、故青木定雄氏「お別れ会」

［七月二十六日］

六月八日に八十八歳をもって逝去された京都の大手エムケイの創業者、青木定雄氏のお別れ会がウェスティン都ホテル京都で営まれた。関係者約千六百人が参列し、全国で初めてタクシー運賃を値下げ、規制緩和の流れを作り、サービスの向上に尽力した故人を忍んだ。

当会からは有馬理事長が参列しお別れの言葉を述べた。

◆第六十七回法隆寺夏季大学

［七月二十九日］

法隆寺において七月二十六日から四日間夏季大学が開催された。法隆寺は聖徳太子の理想に基づく「一仏大乗」の聖地にして、日本仏教の源流でもあり「法隆学問寺」と称されるところから、多数の一般市民の参加もあり毎年夏季に開催され今回で六十七回目となる。

今回、当会が後援し浄土真宗本願寺派宗会議長・信行寺住職淺野弘毅師が「念仏って何？極楽浄土って何？」と題し、第八講を務めた。会場は溢れる人々で満堂となり、熱心にメモをとる姿が多く見られた。

◆九州北部豪雨災害被災地視察

［七月三十一日］

七月五日からの記録的な豪雨により多大な被害を受けた福岡県朝倉郡東峰村、大分県日田市に被害状況の確認のため長澤香静事務局長が視察に赴いた。

交通機関も完全に復旧していない中、多くの被災地域を目の当たりにし、災害復興の募金活動を行うこととした。

◆京の七夕開会式

［八月五日］

「一年に一度願い事をする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに京都の新たな夏の風物詩「京の七夕」が開催された。

八回目を迎えた今夏は堀川・鴨川会場の他に新たに四ヵ所の会場が加わり、幻想的なイルミネーションで彩られ、連日多くの来場者が短冊に願い事を書く等、多彩な行事を楽しんだ。

期間中、清水寺をはじめ高台寺・六道珍皇寺・清明神社・貴船神社・八坂神社の各寺社において特別拝観等行われた。

◆たなばた願文お焚き上げ・盂蘭盆会採燈大護摩供法要

［八月十六日］

京都府神社庁と京都仏教会による「たなばた願文お焚き上げ」が清水寺南苑にて執り行われた。

聖護院門跡宮城泰年門主を導師に、吉田神社三木善則宮司を斎主に、神職と修験者が出仕し、全国から寄せられた短冊（たなばた願文）のうち約一万枚が盛大に焚き上げられ、それぞれの思いが託された。

続いて、本年で第二十八回を迎えた恒例の当会主催盂蘭盆会採燈大護摩供法要が営まれた。

本年も福祉施設で作成された護

●仏教会報告●

摩木約二万本に皆様の願いが書かれ、お盆送り火のこの日に供養された。

願いを書いた護摩木を自らの手で火中に投じた参拝者らは、それぞれの思いを込めて熱心に手を合わせていた。その列は次から次へと切れることなくいつまでも続いた。

◆「文化財を守り伝える京都府基金」緑陰講座

［九月三日］

京都府は「文化財を守り伝える京都府基金」寄付者の文化体験として緑陰講座を開催している。平成二十九年度第一回目は西本願寺国宝「鴻の間」を会場に僧侶の方による法話、その後非公開の国宝を職員の説明を聞きながら特別拝観がなされ参加者三十三名は大変満足し大好評であった。

◆「会津八一がつなぐ新潟と奈良・京都との交流」交流会

［九月三日］

京都・白沙村荘にて「会津八一がつなぐ新潟と奈良・京都との交流」第二回交流会が開催され、「会津八一と新潟の文化の伝統」と題し、新潟市会津八一記念館神林恒道館長の文芸講演が行われ、学芸員による展示品の解説がなされた。

当会からは有馬頼底理事長、長澤香静事務局長が出席した。

◆金閣寺音舞台

［九月九日］

現在、当会及び毎日放送主催、大和証券グループの協賛、日本航空の協力を頂きシリーズ化されている「音舞台」も今回で記念すべき三十回を迎え、本年は十年に一度開催される世界遺産金閣寺で行われた。鏡湖池に浮かびあがる舎利殿が燦然と輝きを放つ舞台では、京舞井上流家元井上八千代氏、俳優市村正親氏、ヴォーカルサラ・オレイン氏、アコーディオン奏者クセーニャ・シドロワ氏、ヴァイオリン奏者ギドン・クレーメル氏他ジャンルを超えたトップアーティスト達が華やかに競演、「東洋と西洋の出会い」が美しく繰り広げられ幻想的な空間に満席の観客らは酔いしれた。

◆京都市深草墓園秋季慰霊祭

［九月十日］

京都市主催の秋季慰霊式典と遺族会主催の同慰霊法要が開催された。慰霊式典では、門川大作京都市長の式辞にはじまり、京都市議会議長及び遺族代表の弔辞、遺族代表による献花が執り行われた。引き続き行われた慰霊法要では、浄土真宗本願寺派西本願寺の奉仕による法要が行われ、読経に合わせて、約千人の遺族が次々と焼香を行い、故人の冥福を祈った。

なお、京都市深草墓園は京都市のお墓として昭和三十三年七月に開設され、永年納骨と短期納骨の取り扱いとして市民の利用に供しており、現在では約一万五千体の御霊が宗教宗派の区別なく合祀されている。今回で百十九回を数える。

当会からは荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長らが出席した。

◆宗教法制研究会第一〇〇回記念公開シンポジウム

［九月十五日］

宗教法制研究会第一〇〇回記念公開シンポジウムが青山学院大学渋谷キャンパスにて開催された。「寺院消滅時代を迎えて～不活動法人の現状と対策」をテーマに愛知学院大学名誉教授善家幸敏氏から趣旨説明が

●仏教会報告●

あり、鈴鹿短期大学副学長川又俊則氏の基調報告に続いて臨済宗妙心寺派宗門活性化推進局顧問久司宗浩師、日蓮宗過疎地域寺院活性化検討委員会委員馬渡竜彦師がパネラーとなりパネルディスカッションが行われ会場からの質問や意見交換がなされた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆るんびに苑参与会発会式

［九月二十日］

十四年前、浄土真宗本願寺派西福寺前住職が多くの共鳴者とともに開園した被虐待児・発達障害児のための児童心理治療施設「るんびに学園」。その校舎、宿舎をプレハブから木造に建て替え、後任に委ねたいと決意されたことを知り、有馬頼底理事長が発起人代表となって参与会を発会、この日発会式を行った。

六年後の開園二十周年を目標に「るんびに苑」を核として青少年が健全に成長する社会を実現するため仏教徒の慈悲心をもって支援することを誓った。

当会からは有馬頼底理事長が出席した。

◆建仁寺「桑」フォーラム

［九月二十四日］

NPO法人京都マルベリー協会が大本山建仁寺において桑の魅力を京都から発信しようと「桑」マルベリーフォーラムを開催した。

「喫茶養生記」でお茶同様桑の効用などを伝えた建仁寺栄西禅師の遺徳を顕彰しようと今年で十三回目。

西陣織工業組合理事長渡邉隆夫氏、建仁寺派法観寺（八坂の塔）住職浅野全雄師の基調講演が行われ、桑の効用や食し方を紹介した。

当会からは、荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆秋季彼岸焼骨灰供養法要

［九月二十七日］

秋彼岸にあたり浄土宗西山禅林寺派総本山・永観堂禅林寺本堂において京都仏教会、京都中央葬祭業協同組合の共催による恒例の秋彼岸供養法要が営まれた。

浄土宗西山禅林寺派久我儼昭宗務総長の法話の後、浄土宗西山禅林寺派管長中西玄禮猊下導師のもと山内ご出仕により彼岸供養法要が厳修された。

爽やかな秋晴れのもと、約千五百人もの参拝者を迎え、御影堂に溢れるほどの列は庭まで長く続き、この半年間にお亡くなりになられた故人をしのぶ焼香の列は長く続いた。

◆九州北部豪雨災害地大分県日田市・福岡県東峰村へ義援金贈呈

［九月二十九日］

七月三十一日に災害地域を視察後、再び長澤香静事務局長が大分県日田市役所・福岡県朝倉郡東峰村役場を訪れ、見舞いの言葉とともに義援金を手渡した。原田市長、澁谷村長はそれぞれ被害状況や復興への取組について

●仏教会報告●

説明。後日、史上例のない大豪雨であまりの被害の大きさに多くの市民、村民が茫然自失となった心を復興に向け奮い立たせたのは温かい支援のおかげと礼状が届いた。

◆明日の京都文化遺産プラットフォーム主催第七回フォーラム

［十月九日］

明日の京都文化遺産プラットフォーム主催第七回フォーラム「古都の借景」が立命館大学朱雀キャンパスにて開催された。

「借景の諸相」と題し、京都造形芸術大学教授尼﨑博正氏による基調講演、雅楽師東儀秀樹氏による演奏・トーク、パネリストに平等院住職神居文彰師、圓通寺住職北園文英師、作庭家小川勝章氏を迎えノンフィクション作家の秋尾沙戸子氏がコーディネーターを務めパネルトークが行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆全日本仏教会財団創立六十周年記念式典・第四十四回全日本仏教徒会議福島大会

［十月十三日・十四日］

全日本仏教会財団創立六十周年記念式典・第四十四回全日本仏教徒会議福島大会が福島県郡山市のホテルハマツ、ビッグパレットふくしまにて開催された。

東日本大震災七回忌、阪神・淡路大震災二十三回忌、熊本地震一周忌の筋目の年に当たり、十三日の記念式典では全国から五百名の僧侶が集まり、被災物故者の追悼法要、被災地復興祈念法要が営まれた。十四日の仏教徒会議福島大会には県内の檀信徒や僧侶二千人が参加、慰霊と復興祈念法要が営まれ、様々な行事を通じて被災地に寄りそう姿勢を示した。

当会からは吉田清順評議員が出席した。

◆中外日報社創刊百二十年記念講演会・祝賀会

［十月十四日］

中外日報社創刊百二十年記念講演会・祝賀会がリーガロイヤルホテル京都にて開催された。宗教学者山折哲雄氏、臨済宗妙心寺派福聚寺住職玄侑宗久師が「時代に向き合う―あしたを生きぬく力」と題して対談、約四百人が聴講した。また祝賀会では各教団要職者等二百人が出席、宗教専門紙としての百二十年の歩みを振り返るとともに今後の報道への期待を語った。

当会からは坂口博翁理事が出席した。

◆(株)公益社創業八十周年記念祝賀会

［十月三十日］

(株)公益社創業八十周年記念祝賀会がウェスティン都ホテル京都にて開催された。全葬連、世界葬連でも会長を務めた故松井昭憲氏が「青竹を用い、葬儀を華美に走らず、荘厳を整える京都の祭壇は国内外に誇る文化です。家族葬が加速度的に進む中、人々の交じり、悲喜こもごもがこうした文化を産んできた。何か無味乾燥な時代に入った気がします。しかし八十周年を迎え、この厳しい時代を乗り越え、さらなる飛躍を遂げねばなりません。皆様のご支援を。」と挨拶した。

当会からは荒木元悦常務理事、坂口博翁理事、長澤香静事務局長が出席した。

●仏教会報告●

◆ローマ法王庁公式訪問

［十一月二日～九日］

十一月二日から九日まで宗教間対話のため、有馬頼底理事長がバチカンを訪れた。在バチカン日本大使館にて晩餐会に出席し、ローマ教皇庁コマストリ枢機卿・ハンス音楽財団ハンス理事長らと交歓、翌日、サンピエトロ大聖堂にてローマ法王の名によるミサに参列し、仏教者として平和を祈るメッセージを伝えた。サンピエトロ大聖堂ではハンス音楽財団招待の聖歌隊による合唱コンサートに参列、またサンパオロ大聖堂では西本智美指揮イルミナート交響楽団によるモーツァルト「レクイエム」演奏に参列、帰国前日にはサンピエトロ大聖堂正面段上において、法王のミサの後、フランシスコローマ法王と謁見。握手を交わし、通訳を介して平和への思いを語り合った。

◆平安神宮名誉宮司九條道弘大人命平安神宮葬

［十一月九日］

九月十六日に八十三歳をもってご帰幽された平安神宮名誉宮司九條道弘氏の平安神宮葬が国立京都国際会館で営まれた。神社本庁田中恆清総長（石清水八幡宮宮司）が斎主を務め、「祭詞」を奏上。平安神宮鎮座百年記念大祭や時代祭のパリ巡業などの功績を讃えた。神社界の要人、旧華族、財界人ら関係者約千五百人が参列し、別れを惜しんだ。

当会からは有馬理事長の代理として荒木元悦常務理事が参列した。

◆大西良慶和上生誕一四二年回顧展オープニング

［十一月十四］

十一月十四日から十九日までアートスペース余花庵において、京都における老人福祉の先駆者大西良慶・元清水寺貫主を偲ぶ回顧展「慈悲の実践」が開催された。特別養護老人ホーム社会福祉法人同和園と清水寺が二〇二一年に創設一〇〇年を迎える同ホームの前身「京都養老院」に尽力した大西良慶和上の銅像、一世紀の歩みを紹介する写真等五十点が展示され、参観者は大西良慶和上と同園が高齢者福祉に刻んだ軌跡に触れ、改めてその遺志と遺徳に思いをはせていた。

当会からは長澤香静事務局長が参列した。

◆「東アジア文化都市二〇一七京都」閉幕式典

［十一月十九日］

京都市、文化庁主催「東アジア文化都市二〇一七京都」閉幕式典がロームシアター京都にて開催された。中国・長沙市、韓国・大邱広域市と一年を通し文化交流を重ね、多彩な文化事業に取組み、フィナーレを飾るクロージング事業として式典、日中韓舞台公演、京都市立岡崎中学校の生徒による合唱が行われた。

当会からは坂口博翁理事が出席した。

◆ネパール大地震被災報告とチャリティコンサート

［十一月二十三日］

ネパールバンド・クトゥンバ実行委員会、NGOネパール「虹の家」主催、明日の京都文化遺産プラットフォーム立命館大学歴史都市防災研究所共催によるネパール大地震被災報告とチャリティコンサートが立命館大学衣笠キャンパスにて開催された。「世界遺産パタン地区の防災計画への取組と地震直後の状況」と題し、立命館大学歴史都市防災研究所所長大窪健之教授、「被災後の伝統的中庭空間の防災活用状況」と題し、

●仏教会報告●

金渡源准教授の講演が行われ、続いてNGOネパール「虹の家」代表福谷真知子氏の活動報告、最後にネパール民族音楽の演奏が行われた。
当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆自然環境文化推進フォーラム東京大会

［十二月五日］

自然環境文化推進フォーラム東京大会が新宿御苑にて開催された。平成二十七年より日本人が大切にしてきた感謝や祈りの心を原点とし、自然環境と文化の推進に寄与することを目的に活動を続けており、今回で二回目のフォーラム開催となった。
当会からは宮城泰年常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆成道会・永年勤続表彰

［十二月七日］

お釈迦さまのお悟りになられた遺徳を偲び、当会主催による成道会が総本山泉涌寺にて厳修された。
泉涌寺上村貞郎長老御導師、御一山僧侶の出仕、当会役員随喜のもと舎利殿にて厳かに法要が営まれた。
続いて永年勤続五十年住職表彰の知事表彰、三十年理事長表彰が行われ、京都府山内修一副知事と宮城泰年常務理事よりそれぞれに賞状と記念品が授与された。
表彰式の後は本坊客殿にて祝宴が営まれ、表彰者を代表して五十年表彰の浄土宗西山禅林寺派専修寺住職岸野亮哲師から「様々なご縁で育てて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今後も至らぬ身ですが精進いたします。」と謝辞が述べられた。
尚、表彰を受けられた方々は次のとおり。

◉永年勤続住職知事表彰者（五十年）

岸野亮哲師	専修寺	浄土宗西山禅林寺派
大木祖淨師	神應寺	曹洞宗

◉永年勤続住職理事長表彰者（三十年）

山田勝裕	長寿院	浄土宗西山禅林寺派
有村友伸	妙雲寺	日蓮宗
矢野利生	教念寺	浄土真宗本願寺派
小川啓一	西方寺	曹洞宗
吉川道庸	普門寺	曹洞宗

◆京都・嵐山花灯路開幕式

［十二月八日］

この日から十二月十日までの十日間、嵯峨・嵐山界隈で「京都・嵐山花灯路」が開催された。
この「嵐山花灯路」は京都の活性化と観光振興に寄与するため二十一世紀の新たな風物詩としての「京都・花灯路」をと、京都府、京都市、京都商工会議所、京都文化交流コンベンションビューロー、京都市観光協会、京都仏教会などが参画して京都花灯路推進協議会を結成、すでに定評となった「東山花灯路」に続く事業は今年で十三年目。
期間中各種催しが開催され、また、周辺社寺においても夜の特別拝観

●仏教会報告●

も行われた。午後五時から午後八時三十分の間点灯され、期間中一、一四二、〇〇〇人の観光客らが初冬の夕暮れ散策を楽しんだ。

◆泉涌寺第百五十三世長老川村俊朝師追悼会

［十二月十五日］

九月二十四日九十一歳をもって遷化された泉涌寺第百五十三世長老川村俊朝師の追悼会が総本山泉涌寺にて行われた。舎利殿に於いて上村泉涌寺長老導師、塔頭・所属寺院等の縁故寺院職衆のもと法要が営まれ、大和尚を慕う約二百名が参列した。

［平成三十年］

◆西陣織工業組合新年総会

［一月五日］

西陣織工業組合の、平成三十年度新年会総会が西陣織会館にて開催された。

同組合は、明治十六年に西陣織物業組合として発足。また、昭和四十八年、旧西陣三組合（西陣織物工業組合・西陣着尺織物工業組合・西陣毛織工業組合）が合併。この新年総会は知事、市長をはじめ各界の代表やらが参集し、毎年盛大に行われる。

当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆日本キリスト教団故府上征三氏葬儀参列

［一月十九日］

一月十五日に七十八歳をもって逝去された日本キリスト教団府上征三氏の葬儀が洛陽教会にて執り行われた。当会「国家と宗教研究会」にも参加し、牧師として常に「宗教は国家を越える。信教の自由と政教分離を必ず守らなければならない。」と明言されてきた。温厚で誠実、多くの人々に愛された方だった。

当会からは長澤香静事務局長が参列した。

◆明日の京都講座平等院

［一月十九日］

明日の京都文化遺産プラットフォーム主催「明日の京都講座平等院」が平等院浄土院本堂にて開催された。「宇治・お茶の郷、平等院もう一つの顔」と題し平等院住職神居文彰師による講演、「文化と環境」をテーマに神居住職、山本正宇治市長、前ユネスコ事務局長・明日の京都会長の松浦晃一郎氏の鼎談が行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ＪＲ東海「泉涌寺に想いを寄せて」世界遺産対談

［一月二十二日］

東海旅客鉄道（株）の特別協賛を得て、明日の京都文化遺産プラットフォーム・京都市・京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビューローの後援のもと、当会主催による世界遺産対談「泉涌寺に想いを寄せて」を開催した。

今回は皇室の菩提所として、また諸宗兼学の道場として名高い東山三十六峯の一峰、月輪山の麓にたたずむ泉涌寺妙応殿にて「皇室と泉涌寺」をテーマに

泉涌寺長老上村貞郎師と宗教学

●仏教会報告●

者の山折哲雄氏の対談が行われ、百二十名余りの参加者は熱心に耳を傾けた。この講演に伴い特別拝観も行った。

◆京都中央葬祭業協同組合新年会

［二月五日］

京都中央葬祭業協同組は多くの本山が集中する京都で全国葬祭業の中心となって活動しており、当会とは永きにわたり春秋彼岸の焼骨灰供養法要を共催で執り行っている。本年もきのぶにて新年会が開催された。当会からは荒木元悦常務理事が出席した。

◆公益社会長故松井昭憲氏社葬参列

［二月十五日］

一月十九日に七十五歳で逝去された公益社会長故松井昭憲氏の葬儀並びに告別式が社葬にて公益社南ブライトホールで営まれた。

京都の伝統に根ざした仏式による荘厳にこだわり、葬儀を通しての人の縁を大切に生きた松井氏の死を悼む多くの人々が参列した。永観堂の久我儼昭管長が導師となり、この日しめやかに社葬が行われた。各宗派管長や、当会からも有馬頼底理事長をはじめ多くの役員が参列した。

◆京都・東山花灯路二〇一八オープニング

［三月九日］

歴史的文化遺産や街並み等を「灯り」と「花」で演出する早春の風物詩「京都・東山花灯路」が三月九日から十八日の十日間、京都東山界隈で開催された。

京都の活性化と観光振興に」寄与するための「京都・東山花灯路」は今回で十六年目を迎え、京都市民、日本全国、海外の観光客に京都の風物詩として定着した。また、清水寺・青蓮院をはじめ知恩院・八坂神社・高台寺・圓徳院・法観寺の各寺社において、夜間拝観が行われた。

◆NGOネパール「虹の家」災害支援金贈呈

［三月十二日］

京都仏教会会議室において荒木元悦常務理事よりNGOネパール「虹の家」代表理事福谷真知子氏にネパール大地震の災害支援金百万円が贈呈された。今回が三回目で最後となる。福谷代表は日本においてシンポジウム、演奏会等を開催し、今後もネパールの子どもたちの状況を発信していく旨の発言があり、当会でも引き続き支援活動の協力をしていくこととなった。

◆深草墓園春季慰霊祭

［三月十七日］

春の日差しの中、松緑神道大和山教団の御奉仕により伏見深草墓園において春季慰霊式典が厳かに執り行われた。

千名を超える大勢の遺族が参拝に訪れ、次々と手を合わせ故人の冥福を祈った。

京都市深草墓園は「市民のお墓」として昭和三十三年七月に開設され、今回で百二十回になる。永年納骨と短期納骨の取扱いとして市民の利用に供しており、現在では約一万五千体の御霊が宗教宗派の別なく合

●仏教会報告●

祀されている。
　当会からは、荒木元悦常務理事、長澤香静事務局長が参列した。

◆春季彼岸焼骨灰供養法要

［三月二十日］

　春彼岸にあたり日本禅三宗の一つ、臨済宗相国寺派大本山相国寺方丈において京都仏教会、京都中央葬祭業協同組合の共催による恒例の春彼岸供養法要が営まれた。
　臨済宗相国寺派教学部長矢野謙堂師の法話に続き、臨済宗相国寺派管長有馬頼底猊下導師のもと、山内出仕により彼岸供養法要が厳修された。
　春の日差しの中、約千五百人もの参拝者を迎え、この半年間にお亡くなりになられた故人をしのぶ焼香の列は後を絶たなかった。
　この焼骨灰供養法要は永年回を重ね、今回で百十一回目を数えるに至った。

◆会津八一歌碑建立除幕式

［三月二十七日］

　東寺真言宗総本山教王護国寺境内に歌人会津八一の歌碑が建立され、除幕式が行われた。八一歌碑は全国に五十基あり、今回の歌碑建立は二〇一六年に有馬頼底理事長が「京都にも八一の歌碑を」と呼びかけたのがきっかけで実現した。東寺に関する歌三首のなか、歌碑には講堂で国宝「軍荼利明王」像をみて詠んだ「たちいればくらきみだうに軍荼利のしろききばよりもののみえくる」の一首が刻まれた。
　当会からは有馬頼底理事長、長澤香静事務局長が出席した。

◆黄檗宗大本山萬福寺開山忌

［四月三日］

　黄檗宗大本山萬福寺で宗祖隠元禅師の第三四六回開山祥忌が営まれた。開山堂での法要には臨済各派の宗務総長、重役の他、全日本仏教会、真言宗、浄土宗、浄土真宗、曹洞宗などの代表が随喜、出頭。護持会の黄檗会や華僑、煎茶道関係者が参拝した。
　当会からは長澤香静事務局長が参列した。

◆おしゃかさまを讃える夕べ

［四月九日］

　ＡＮＡクラウンズプラザホテル京都にて催された「おしゃかさまを讃える夕べ」は各本山・寺院・各界代表の方々約四百三十名が参集した。本年は本山修験宗宗務総長中村覚祐導師のもと聖護院門跡山内ご出仕による「花まつり」法要が厳修された。花御堂には京都市長ら各界代表が次々と灌仏を行った。
　挨拶に立った有馬頼底理事長は、京都仏教会の一般財団法人化したことを報告し、仏教の原点としての不殺生戒の重要性を改めて

●仏教会報告●

強調した。また、門川京都市長は文化・宗教交流への京都の貢献について語り、四月十五日に退任する山田啓二知事も知事四期十六年の各界の支援に謝辞を述べた。今回は俳優で日本野鳥の会会長でもある柳生博氏が「確かな未来は懐かしい風景にある」と題して記念講演を行い、ナチュラリストとしての活動を語り、多様性を持つ里山との共存、昔ながらの家庭の風景にこそ「確かな未来」があると説いた。その後は会食に入り、花まつりにふさわしく和やかな歓談がいつまでも続いた。

◆こどもはなまつり

［四月二十四日］

はなまつり月間の一環として本年もこどもはなまつり事業が行われた。江崎グリコ(株)、ライオン(株)にご協力頂き、京都仏教保育園協会を通じ、三十の仏教系保育園へ。また、六ケ所の福祉施設へも多くの寄贈の品々が贈られた。配布された菓子類に各園では子どもたちの喜ぶ姿が随所に見られた。

◆京都仏教幼稚園協会はなまつり園児大会・京都仏教幼稚園協会創立九十周年祝賀会

［五月二十二日］

京都仏教幼稚園協会による「はなまつり園児大会」が、ロームシアター京都にて開催された。

各園児をはじめ父兄約二千人が集い、讃仏歌（ののさま・ねね）斉唱、献灯献華、三帰依文（パーリー語）斉唱、灌仏、讃仏歌（こどもの花まつり）斉唱が行われた。同日、京都仏教幼稚園協会創立九十周年祝賀会がホテルグランヴィア京都にて開催された。

当会からは、長澤香静事務局長が出席した。

◆清水寺国家安泰世界平和祈願献花祭

［六月十一日］

清水寺において、石清水八幡宮と日本古来の神仏の習合にならって営む「国家安泰世界平和祈願献花祭」が執り行われた。導師は森清範清水寺貫主、斎主は田中恆清石清水八幡宮宮司。

この神仏合同の祭儀は、平成十五年十一月に清水寺の奥之院御本尊開帳を記念した「国家安泰世界平和祈願祭」から毎年実施、十七年からは献花祭の名称でこの時期に行われている。

当会からは、長澤香静事務局長が出席した。

◆京都新聞京都市長対談「京都大好きトーク」

［六月十五日］

京都新聞朝刊七月掲載「京都大好きトーク！門川大作市長とゲストとの対談」に国際日本文化研究センター名誉教授山折哲雄氏と当会常務理事宮城泰年師がゲストとして招かれ、「京都における宗教文化の精神性」をテーマに文化の側面から見た宗教の現状と課題や精神性、伝統を守るための文化財保護の取り組み、文化都市京都が今後担う役割について二条城香雲亭にて対談が行われた。

寺院会費

当会もおかげさまをもちまして仏教諸行事、文化福祉、研究活動等順調にかつ積極的に推移してきております。これもひとえにご寺院各位のご理解ご協力の賜物と存じます。今後はますます京都が宗教都市として発展しつづけるために、布教・広宣を行い、また多様化する現代社会の情報提供や宗教法人に関する諸問題につきましてもお役に立てるようはかって参りたいと存じます。つきましては通信費の一部として平成三十年度分の会費を同封の郵便振替にてご納入の程、よろしくお願い申し上げます。

賛助会費

各界一般会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

平素は何かと本会の活動に対し、ご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

おかげをもちまして賛助会員につきましては年々増え続けておりまして有り難いことと存じます。当会も各界のみなさまとともにこの歴史と伝統のある京都において様々に交流や文化事業を通じ、よりよい京都に発展すべく努力して参りたいと存じます。

当会の会報を年二回お送り申し上げますことや諸行事のご案内をみなさまとの情報交換の場とし、今後も活動をしてゆきたいと存じます。各位におかれましては、なにとぞこの趣旨にご賛助賜り平成三十年度分の賛助会費のご納入をよろしくお願い申し上げる次第でございます。なおご納入は同封の郵便振替にてよろしくお願い申し上げます。

平成27年4月より京都仏教会事務所が下記へ移転致しました

新住所

〒602−0898
京都市上京区今出川通烏丸東入ル相国寺門前町**636−1**
TEL 075−223−6975・FAX 075−223−6976

《番地のみ変更になりました》

発行日　平成三十年八月十日
発行所　一般財団法人 京都仏教会
〒602−0898 京都市上京区今出川通烏丸東入相國寺門前町六三六―一
電　話　（〇七五）二二三―六九七五
FAX　（〇七五）二二三―六九七六
表紙写真　京丹後市教育委員会提供
印刷所　（株）精巧社

開運暦

檀信徒配布等にご利用下さい。

1部　価格85円
（郵送いたします）

申し込みは
京都仏教会
TEL 075−223−6975

京表具

表具全般　古書画修復

前田秀畹堂

〒604－8121
京都市中京区柳馬場通錦小路上る
TEL.FAX. 075（221）5754

精進料理

上（うえ）　幸（こう）

〒604-8503　京都市中京区大宮通り錦上ル
電　話（075）821－3872
（075）821－3837

税理士法人　古都

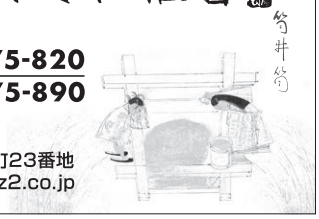
〒600－8431
京都市下京区綾小路通室町西入る
善長寺町139番地AMI四条烏丸ビル405号
TEL･FAX：075（352）7778
E－mail：nakamasa@bridge.ocn.ne.jp

授与品・記念品・その他一式

井筒授与品店

フリーダイヤル TEL 0120-075-820
フリーダイヤル FAX 0120-075-890

〒601-8348
京都市南区吉祥院観音堂町23番地
E-Mail:izutsu5@iz2.co.jp



借地管理でお困りではありませんか？

弊社では、顧問弁護士　橋口　玲　他、司法書士、土地家屋調査士、
宅地建物取引士などの専門スタッフを揃え、円滑な借地管理の
お手伝いをさせて頂いております。現在、管理実績は７００戸越えです。

●ご相談・資料請求は無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社　玄武管財

TEL　075-411-1214 ／ FAX　075-411-1241
京都市上京区相国寺門前町 647 番地 1
E-mail:info@kyoto-genbu.co.jp
http://www.kyoto-genbu.co.jp/

住所/京都市左京区下鴨西本町26-2
営業時間/（都合により変更する場合があります）
17:00～22:00
お問合せ/
075-722-3405
Produced by おのみやす本舗

鉄板焼き・桑料理
一玄
いぢん

京石記 石工念 塔事碑
株式会社 石寅®
石工事・土木工事・造園工事（京都府知事認可）

本　　店（〒616-8376）京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町1－10
電話（075）881－1481番　FAX（075）881－1480番
新丸太町店（〒616-8305）京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町33－2
電話（075）882－2124番　FAX（075）882－2128番
丹波営業所（〒622-0211）京都府船井郡京丹波町上野中野31－1
電話（0771）82－2681番　FAX（0771）82－2751番
京丹波店（〒622-0213）京都府船井郡京丹波町須知天神18－1
電話（0771）89－1481番　FAX（0771）89－1480番
石寅ホームページ URL:http://www.ishitora.co.jp/

文化財建造物修復・社寺建築設計施工
木澤工務店
代表取締役社長　木澤善之
代表取締役会長　木澤源平　　専務取締役　木澤善和

本　　社　京都市左京区浄土寺真如町111番地―1
TEL（075）751-0628（代）　FAX（075）752-9430
営業所・工場　滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
TEL（0749）42-2859（代）　FAX（0749）42-5727

文化財修理・保存／文化財調査／絵画・墨蹟・一般表具一式
御本山御用達　古文化財保存修理研究所　㈲矢口浩悦庵

京表具　浩悦庵（こうえつあん）

〒602-8025 京都市上京区衣棚通丸太町上る今薬屋町 318 番地
Tel.075-254-6021/Fax.075-254-6022　http://www.koetsuan.com

答える葬儀社
公益社

ブライトホール —— 8カ所・52式場

北ブライトホール［堀川紫明］　山科ブライトホール［五条外環］
中央ブライトホール［五条東山］　向島宇治ブライトホール［宇治槇島］
南ブライトホール［油小路八条］　大津ブライトホール［大津駅南］
西ブライトホール［五条西大路］　大津ブライトホール北館［大津駅南］

0120-004-200　24時間365日対応、無料相談　公益社 京都　検索

葬　儀
—— 人生の終り、もうひとつの門出を美しく ——
cerema
あんしん祭典
もよりの営業所へご連絡ください。（24時間営業）
寝台自動車のご用命も承ります。

京都営業所 ☎(075)682-4444
宇治営業所 ☎(0774)32-4242
向日営業所 ☎(075)921-4444
大津営業所 ☎(077)524-4444
亀岡営業所 ☎(0771)22-0042

経済産業大臣認可／全日本葬祭業協同組合連合会加盟

京都中央葬祭業協同組合員名簿

http://www.kyosokyou.jp/

信頼と安心の
全葬連 葬祭サービスガイドライン
●事前相談 ●サービス内容の説明 ●明瞭価格 ●アフターサービス
京葬協は、葬祭サービスガイドラインを尊守いたします

会　社	代表者	電　話	所　在　地
㈱まるいち	小林静男	075-441-6254	上京区千本上立売通作庵町518
㈲京都日葬	九谷田満雄	075-811-4242	中京区西ノ京塚本町13−11
花安	吉村　和	075-463-7276	中京区西ノ京御輿岡町20
㈱公益社	松井　雄	075-221-4000	中京区烏丸六角上饅頭屋町608
㈱京都セレモニー	松井　雄	075-221-8400	中京区烏丸六角上饅頭屋町608
㈱公益サービスセンター	松井信五	075-551-3422	東山区清閑寺山ノ内町46-2
駕政	滝口泰彦	075-691-0826	南区竹田街道大石橋上ル西側
洛王セレモニー㈱	北村憲司	075-933-4242	南区久世高田町35-3
あめ直	阪邉賀津子	075-611-0400	伏見区京町六丁目54-1
㈱のじり葬儀店	野尻智美	075-611-4211	伏見区治部町123
㈱山長	山田　一	075-861-1422	右京区太秦西蜂岡町1
㈱アシス	岡本研三	075-932-4242	向日市寺戸町西田中瀬3

会　社	代表者	電　話	所　在　地
㈲城陽葬祭杉村	杉村　等	0774-52-2140	城陽市久世南垣内116
㈱宇治葬祭駕辰	木村久孝	0774-31-8072	宇治市五ヶ庄芝の東53
山城葬祭㈱現丸屋	小川保善	0774-82-2064	綴喜郡井手町井手柏原83-2
花福	福田善文	0774-82-2016	綴喜郡井手町井手宮ノ本89
㈲阪口	阪口　仁	0774-76-2146	木津川市加茂町駅西1-5-3
平城公益㈱	西川弘人	0774-72-5709	木津川市相楽鳥井7-1
㈱松本仏具店	松本光雄	0771-22-0279	亀岡市安町86
㈲いちたに	一谷和弘	0771-62-4949	南丹市園部町小山東町水無38
㈱セレモニーまつだ	松田政一	0772-46-2264	与謝郡与謝野町字弓木956
おのえメモリアル	尾上康則	0772-42-5555	与謝郡与謝野町算所229-1
㈲向井葬祭	寺尾　純	0772-72-2002	京丹後市網野町網野3156

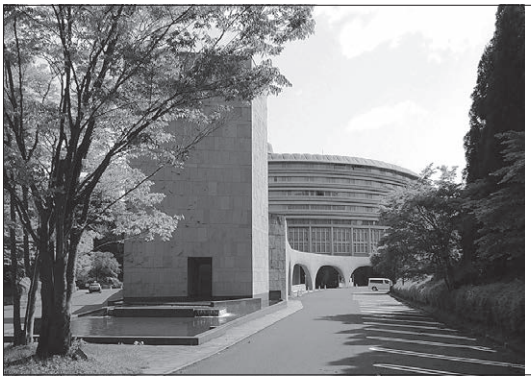
最近のお葬式はどのように行われているか、また、費用はいくら位かかるか!? など、お葬式の内容を知りたい方は、上記の各店へ電話でお問い合わせ下さい。

伝統の心を映した
古都のやすらぎ

ご宿泊や、おくつろぎのひとときに
また、会合などさまざまなお集まりに、
お気軽にご利用ください。

ご予約・お問い合わせは
◆東急ホテルズ予約センター◆
東京予約センター　Tel.(03)3462-0109
札幌予約センター　Tel.(011)533-1090
名古屋予約センター　Tel.(052)202-1090
大阪予約センター　Tel.(06)6314-1090
福岡予約センター　Tel.(092)262-1099

KYOTO TOKYU HOTEL
TOKYU HOTELS
京都 東急ホテル
〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル〈西本願寺北側〉
Tel: 075-341-2411 Fax: 075-341-2488
www.kyoto-h.tokyuhotels.co.jp



京都洛北 四季の彩りと静寂につつまれて
グランドプリンスホテル京都

洛北の豊かな自然の中で
ごゆっくりと京情緒をお楽しみください。

Grand Prince Hotel Kyoto
グランドプリンスホテル京都
〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池　TEL:075-712-1111

でかける人を、ほほえむ人へ。西武グループ

筆・墨・硯・紙・簡易表装・短冊
色紙・中国製筆・墨・硯・紙

株式会社 松栖園

〒600-8075
京都市下京区柳馬場通仏光寺下ル
電　話（075）351－6380（代表）
ＦＡＸ（075）361－8006

社寺建築設計施工

伸和建設株式会社

代表取締役　北尾行弘

〒615-0007　京都市右京区西院上花田町21
（西大路三条西入ル南側）
電 話 075-311-0054（代表）
FAX 075-322-0152

お墓の事ならなんなりと

一般建設業の許可：京都府知事 許可（般-23）第３８９１７号

石のカウンセラー
株式会社 石栄 都（みやこ）

遠近を問わず
お伺い致します
（見積り無料）

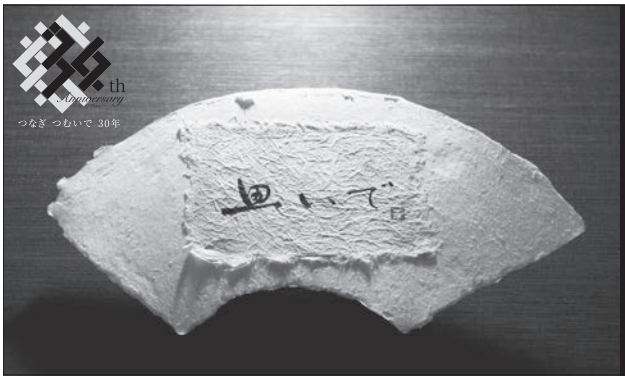
☎（075）491－4114（代）（ヨクゾ　ヨイイシ）　FAX（075）491－2426

京都市北区小山北玄以町24番地（上賀茂橋西詰バス停前）

世界の歴史都市、
京都の中央に位置し、
世界文化遺産「二条城」の前に佇む
ANA クラウンプラザホテル京都。

ANA CROWNE PLAZA KYOTO

ANAクラウンプラザホテル京都
〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
Tel 075-231-1155
www.anacpkyoto.com



京都人さえもが恋するホテル。

京都ブライトンホテル
〒602-8071 京都市上京区新町通中立売（御所西）
TEL.075-441-4411
www.brightonhotels.co.jp/kyoto/

京念珠® 各宗珠数 各種玉類 製造卸
弊店は珠数製造卸業です。小売は行って居りません。
京都・中珠数屋町
株式会社 神戸珠数店
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話（075）371－3929㈹
ＦＡＸ（075）371－3930
定休日 日曜・祝祭日・第二第四土曜

心和むひととき……
名物ゆどうふ
南禅寺 順正 JUNSEI
左京区南禅寺門前 TEL（075）761-2311
FAX（075）751-8812

清水順正おかべ家
清水寺門前……TEL（075）541-7111
祇園円山かがり火
円山公園駐車場前…TEL（075）541-0002

京都１２００年続く美のタイムライン。
京都は常に新しい光を放ち続けている。

京都知新

KYOTO CHISHIN

京都の伝統を引き継ぎながらも、
時代の新しい挑戦を追求している
新進のアーティスト・画家・職人などの
作品や生き様を丁寧に紹介しています。

毎週 日曜日 あさ6時15分～6時30分放送

ナレーション：升毅

監修：京都仏教会